

小浜温泉と
その周辺をぶらりと
散策しませんか?!

ぶら~っと 小浜温泉さるく



小浜温泉観光協会では、「湯町」と「旧小浜鉄道沿線・六角井戸」の2つのコースを用意して、小浜の歴史から自然、文化、民俗のことなど、ボランティアガイドが楽しく案内。ディープなガイドで、有名どころから穴場まで、隠れた魅力を紹介してくれます。

小浜のガイドが
“ディープな小浜”
を楽しくガイド



COURSE-1 小浜温泉ぶらぶら歩き (湯町編)



小浜を訪れた歌人・斎藤茂吉、大関・玉垣額之助、小浜温泉を世に広めた入徳、いぼとり地蔵、湧水とキリシタン殉教者の道、島原の乱と光泉寺、低温の炭酸泉、本多湯太夫邸、樹齢400年の大楠、豊後湯の跡、ジャカラの木、日本一長い足湯などを歩きながら見学していきます。(所要時間:約1時間)
※「小浜歴史資料館」への入館は、各自をお願いします(料金100円)。
料金:1人500円 団体(6名以上)3,000円

COURSE-2 旧小浜鉄道沿線と六角井戸 (北野・富津編)



キリシタン殉教者の上陸地と江戸時代の道、島原半島最大の巨石、旧小浜鉄道跡(トンネル、緑のトンネル、プラットホーム跡など)、弘法大師と六角井戸、学問で活躍した関三兄弟、青松の富津弁天公園、竿御前様など、車で移動しながら見学します。(所要時間:約1時間30分)
料金:自家用車の場合 1人500円(ガイドは同乗)
依頼者のマイクロバスなど 6名以上3,000円(ガイドは同乗)

集合場所 小浜温泉観光協会前(2コースとも) **問い合わせ** 小浜温泉観光協会 TEL0957-74-2672

小浜温泉さるく FAX 申込書 FAX0957-74-2884

平成 年 月 日

〒		市	
ご住所		区	
県			
フリガナ			
お名前			
フリガナ		フリガナ	
団体名		団体代表者名	
TEL () -		携帯電話 - -	
申込人数	名	予定日時	月 日 時
料 金	お一人様..... 500円(5名様まで) 団体(6名様以上).... 3,000円(お申し込み団体のマイクロバスにガイドが同乗します / 大型バス不可)		
コ ー ス	<input type="checkbox"/> 小浜温泉ぶらぶら歩き(湯町編 / 所要時間:1~1時間30分) <input type="checkbox"/> 旧小浜鉄道沿線と六角井戸(北野・富津編 / 所要時間:1~1時間30分)		
申 込 先	小浜温泉観光協会 〒854-0514 長崎県雲仙市小浜町北本町14-39 TEL0957-74-2672 FAX0957-74-2884 http://www.obama.or.jp E-mail:info@obama.or.jp		

湯町編 YUNOMACHI



1 夕日の広場 (斎藤茂吉の歌碑)
長崎医専 (現在の長崎大学医学部) 教授時代、小浜の地に5日間滞在した斎藤茂吉。小浜の沈みゆく夕陽に感動して詠んだ歌が刻まれています。

2 小浜神社
温泉の神様として小浜の人々に親しまれている氏神。天井には一晩で描かれたという龍の絵があり、境内には小浜出身の大関・玉垣頼之助の碑も。

3 入徳師翁碑 (伝明寺)
中国から訪れた漢方医・入徳。小浜温泉が病気に効能ありと世に広く伝えたことから、その功績を讃えて伝明寺の境内に石碑が建立されている。

4 いぼとり地蔵
「このいぼとれ」と言いながらお参りする、ご利益があるとされる地蔵様。「いぼをとってください」と願うと、別の場所にいぼができてしまうとか。

12 日本一の足湯「ほっとふと105」
全長105m、豊富な湯量の魅力を感じられる健康スポットです。ウォーキング足湯やペット専用の足湯もあります。

11 豊後湯の跡
島原藩主・松倉豊後守重政のお気に入りだったという、小浜の湯。入浴中に急死したとされる松倉公の寵愛ぶりから、豊後湯と呼ばれるように。

10 小浜歴史資料館 (本多湯太夫邸)
島原の乱の後、小浜温泉の発展に大きな功績を残した本多湯太夫。島原城の門を使った湯太夫の邸宅は、現在歴史資料館として利用されている。



9 小浜神社跡
取り壊された小浜城跡に建てられた小浜神社は、台風の被害を受けた後に移転。幹周りが約7mの楠が歴史と自然の雄大さを感じさせてくれます。

8 炭酸泉
小浜温泉唯一の冷泉。鉄分と炭酸分を多く含み、皮膚病などに効能あり。明治末期から昭和初期には、銭湯として利用されていたことも。

7 光泉寺
島原の乱時には大王(じゃおう)にあった光泉寺は、一揆軍に火をつけられ、乱後に現在地へ移設。和風庭園や門前の美しい湧水が見事。

5 上の川湧水
飲料水や生活用水として利用され、小浜町を代表する湧水。湧水の前の道は、寛永6(1629)年のキリシタン殉教の悲話にも登場します。

6 庄屋元跡
本多家12代目親基は、陶芸家・牧仙として「小浜流」を築き、伊能忠敬が小浜・雲仙を測量した際に立ち寄ったと言われています。

北野・富津編 KITANO TOMITSU

1 石合の浜と江戸時代の道
昔砂浜で、海水浴場だったこの地。キリシタン弾圧時代には、雲仙へと連行されるキリシタン殉教者の上陸地でもあった歴史深い場所です。

2 鬼石
長さ12m、幅11m、厚さ6mを誇る島原半島唯一の巨石。上部の平坦面の面積は61㎡。昭和53年に観音菩薩像も建立されています。

3 五左衛門の墓
山嶺では十分な水が確保できなかった時期があった。千々石村の乙名と話し合い、千々石川から水を引いて、米作りを助けた五左衛門の墓です。

11 辛御前様
男性の見事なシンボルが祀られています。下半身の病気にご利益があるとか。また、縁結びや子宝、出産安全などを願って参拝する人も多いのだそう。

12 雲仙(小浜)鉄道終着小浜駅
愛野—小浜間を繋いだ鉄道がたどり着く終着駅。当時はここからバスで、温泉旅館街へと移動していました。昔のホームの名残が残っています。

4 道祖神 小夜姫
道祖神である小夜姫が祀られている。小夜姫さまの胸を撫でると母乳がよく出るようになるという、ママには嬉しい言い伝えがある。

5 緑のトンネル
道路の幅を残し切り通した跡に、春から夏にかけて木々の緑が生い茂り、木漏れ日が美しい自然のトンネルができる。

6 木津ヶ濱駅跡
大正15年に千々石から小浜間を結んだ小浜鉄道が開通。全長34mの小さな木津ヶ濱駅は、当時の姿がそのまま残った、珍しい場所です。

7 六角井戸
老婆の親切に感動した弘法大師が、杖で水の湧き出る場所を導き、水不足を救ったといわれる伝説の井戸。「弘法大師お助けの井戸」とも。

8 関三兄弟生家跡
芸術教育や児童心理学、日本昔話の編集と、それぞれに「近代児童教育」の礎を築いた明治期の小浜の偉人・関三兄弟の生まれ育った生家。

9 田中戸一郎頌徳碑
河原郷とも呼ばれ、明治・大正期に地域の発展に尽力した網元・田中家。その偉業を讃えて、地元民が碑を建立。

10 富津弁天公園
千々石湾に突き出た岬で、巨岩と青松が美しい公園。ここから眺める夕景は格別です。湯煙が立ち昇る小浜の温泉街を見渡すことも可能。



旧小浜鉄道跡



温泉リゾート地である雲仙・小浜への交通の架け橋として1927年に開通した小浜鉄道。道路建設や自動車の普及のため、運行期間はわずか11年と短いものでしたが、長崎交通の歴史の爪痕に深く刻まれ、近年は「近代化産業遺産」にも認定されています。今でも痕跡をたどることができ、「汽車みち」と呼ばれ親しまれている道沿いからは、様々な史跡を橋湾の景観や独特の風情と共に楽しむことができます。

●近代化産業遺産認定
幕末から昭和初期にかけての産業の近代化に貢献した建造物・機械などを経済産業省が認定したものです。旧小浜鉄道跡は2007年に認定。

小浜温泉観光協会
〒854-0514 長崎県雲仙市小浜町北本町14-39
TEL0957-74-2672